

第12回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ

－ 再生可能エネルギーさきがけの地・福島 －

2011年の東日本大震災を契機に、福島県では、太陽光だけでなく風力、水力、地熱にも恵まれた地理的優位性を背景に再生可能エネルギーさきがけの地を目指し、2040年には再生可能エネルギーで県内の一次エネルギー消費を100%賄うという野心的な目標を掲げています。そのような背景のもと、固定価格買取制度の後押しもあり、福島県では日本で一二を争う4GWを超える容量の太陽光発電設備が認定されています。

2014年4月には産業技術総合研究所の再生可能エネルギー研究所が、世界最先端の研究を通じて福島の復興に貢献することを目的とし福島県郡山市に開所されました。本委員会の委員長、小長井誠教授が統括されるJSTプロジェクトナノワイヤー太陽電池も郡山で研究活動を開始しております。

今回のシンポジウムでは、再生可能エネルギーのさきがけの地・福島において太陽光発電が何をすべきか、何ができるかを産学官の知恵を結集して論議を高めていきたいと考えています。そのことが、福島だけでなく世界中に太陽光発電を普及させることに繋がっていくと期待されます。

今回は、産総研再生可能エネルギー研究所の位置する郡山を開催地とし、再生可能エネルギーさきがけの地・福島、と題して本シンポジウムを企画いたしました。世界最先端の技術だけでなく地域の取り組みや、昨今話題になっている系統接続の問題を取り上げる予定です。主催団体の会員はもとより、会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

主催 日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 (<http://www.gakushin175.org/>)
後援 郡山市、福島県、産業技術総合研究所
協賛 応用物理学会 応用電子物性分科会/多元系化合物・太陽電池研究会、日本太陽エネルギー学会
会期 平成27年5月28日(木)午後から、29日(金)の2日間
場所 ホテル華の湯 (<http://www.hotelhananoyu.jp/>)
住所: 〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60 電話: 024-984-2222

●郡山駅より JR 磐越西線磐梯熱海駅下車(郡山より2駅目、所要時間 15 分くらい)、磐梯熱海駅より「ホテル華の湯」のバス送迎あり。但し、電車が一時間に一本のみになりますので、電車の時刻をご確認ください。

シンポジウム参加費	第175委員会登録委員 (登録委員は1名です)	学生	その他・一般
Early bird registration (平成27年5月13日まで)	7,000円	2,000円	12,000円
General & On-site registration (平成27年5月14日以降)	10,000円	5,000円	15,000円

※意見交換会参加費は別途 4,000円

シンポジウムの内容

- (1) 結晶Si、薄膜Si、化合物薄膜、超高効率・集光形、色素増感・有機薄膜、ペロブスカイト、第3世代等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術・モジュール技術、評価技術、リサイクル技術、測定法、信頼性など
- (3) 太陽光発電システム(系統連系技術、フィールド試験、大規模発電、宇宙応用)および蓄電システムなど
- (4) NEDO プログラム関連等、
- (5) 国や地方自治体のエネルギー政策、導入普及と地域連携
- (6) 基礎講座

* 広く一般講演(口頭発表とポスター発表)を募集しております。

* 招待講演、一般講演の他にも「系統連系技術の課題を議論するパネルディスカッション」も予定しております。

※講演申込、参加登録はWeb登録となります。アドレスは、<http://www.gakushin175.org/registration.html>です。

講演申込手続き

講演希望者は、上記URLにて発表題目、発表者名(連名)、連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、講演概要(200字程度)を記入し、ご送信下さい。

講演申込の締切りは、平成27年3月20日(金)です。

ダイジェスト原稿の提出

提出された論文概要をもとにプログラムを作成し、申込者にお知らせ致します。講演者には、当日配布用のダイジェスト原稿(A4、2ページ以内)の作成をお願いいたします。シンポジウム事務局まで電子メールにて送付下さい。

ダイジェスト原稿の締切りは、平成27年4月24日(金)です。

参加登録

講演申込と参加登録は、別になっております。シンポジウムに参加を希望される方は、必ず氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、意見交換会参加の有無をWebにてご登録下さい。

参加登録および参加費振込の締切りは、平成27年5月13日(水)です。

実行委員会

委員長:近藤道雄(産総研)

副委員長:田中誠(パナソニック)

プログラム委員長:松原浩司(産総研)

プログラム副委員長:坂井裕一(三菱電機)

プログラム委員:伊藤貴司(岐阜大学)、植田譲(東京理科大学)、宇佐美徳隆(名古屋大学)、大下祥雄(豊田工業大学)、大関崇(産総研)、大東威司(資源総合システム)、榎屋勝巳(ソーラーフロンティア)、黒川康良(東京工業大学)、小長井誠(東京工業大学)、近藤道雄(産総研)、坂井裕一(三菱電機)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、竹内良昭(三菱重工業)、田中誠(パナソニック)、仁木栄(産総研)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、松井卓矢(産総研)、増田淳(産総研)、宮島晋介(東京工業大学)、山口真史(豊田工業大学)、山田明(東京工業大学)、山谷宗義(京セラ)、山本憲治(カネカ)

吉川暹(京都大学)、若宮淳志(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

会場係:齊藤公彦(福島大学)、宮島晋介(東工大)、望月敏光(産総研)

事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1-NE-15

東京工業大学 大学院理工学研究科 電子物理工学専攻 小長井・宮島研究室秘書

古川 公子(庶務担当幹事)

電話:03-5734-2554、FAX:03-5734-2897、E-mail: furukawa.k.aa@m.titech.ac.jp

参加費・意見交換会費振込先

みずほ銀行 大岡山支店 普通預金

店番号 145、口座番号 2084534

にほんがくじゅつしんこうかいだい175いんかいだいひょうこなが いまこと
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 運営委員会

委員長:小長井誠(東京工業大学)

副委員長:山口真史(豊田工業大学)、近藤道雄(産総研)、田中 誠(パナソニック)

幹事:伊藤貴司(岐阜大学)、植田譲(東京理科大学)、黒川康良(東京工業大学)、松井卓矢(産総研)、宮島晋介(東京工業大学)、

運営委員:宇佐美徳隆(名古屋大学)、大下祥雄(豊田工業大学)、大関崇(産総研)、大東威司(資源総合システム)、榎屋勝巳(ソーラーフロンティア)、坂井裕一(三菱電機)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、竹内良昭(三菱重工業)、仁木栄(産総研)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、増田淳(産総研)、山田明(東京工業大学)、山本憲治(カネカ)、山谷宗義(京セラ)、吉川暹(京都大学)、若宮淳志(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベ

タイプPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。

ホテル案内及び送迎バスのご案内

シンポジウム会場の「ホテル華の湯」及び、磐梯熱海温泉への宿泊をお勧めします。郡山駅周辺には多くのホテルがありますが、磐越西線の本数が少ないので、ご注意ください。(2015年1月24日現在、郡山発8:31、9:41、10:45、11:41、12:43、13:46、14:54、15:46、16:37、17:43)

尚、磐梯熱海駅からシンポジウム会場までは、「ホテル華の湯」のバスがご利用になれます。

宿泊は、各自インターネットあるいは旅行業者を通じて、お早めにご予約ください。郡山市で他の催しがあった場合、市内のホテルは大変混みあいます。

お弁当案内

シンポジウム二日目、29日(金)のお昼のみ、お弁当を用意いたします。お茶付きで1,000円となります。ご希望の方は、お弁当の申し込みも、参加登録のフォームからお申し込みください。

尚、お弁当代は参加登録費とともに、事前にお振込みください。

第175委員会総会のご案内(委員のみ)

先日ご案内致しましたが、初日の5月28日(木)の昼食時、11:30-12:30総会を開催致します。おって、ご出欠をお尋ね致しますので宜しくお願い致します。